

令和8年度 高等学校「生物」科学的思考力を鍛える観察・実験研修 実施要項

- 1 目的 高校理科の観察、実験を実施するうえで教員として必要な知識と技能を身に付けることで、科学的に探究するために必要な資質・能力の育成に向けた授業力の向上を図る。
- 2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の教員

募集人数 20名

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	7月28日（火） 14:00～17:00	刺激と応答から神経系の情報伝達の過程を見 いだす －実験を通じて考える神経・筋肉・受容器－ 〔実習〕	大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 （1）受付は30分前から。
（2）来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
（3）大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
（4）（受講決定後～当日）Plantで、事前連絡や課題等がないか確認すること。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和8年度 高等学校「生物」科学的思考力を鍛える観察・実験研修 シラバス

1 目的

高校理科の観察、実験を実施するうえで教員として必要な知識と技能を身に付けることで、科学的に探究するために必要な資質・能力の育成に向けた授業力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	刺激と応答から 神経系の情報伝 達の過程を見い だす —実験を通じて 考える神経・筋 肉・受容器—	<ul style="list-style-type: none"> 生物分野における観察、実験を安全に実施するために必要な知識と技能を身に付ける。 生物の授業における探究の充実に向けた観察、実験の進め方について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 神経系、筋肉、受容器の特徴やしくみに関する実習を通して、生物分野における観察、実験を安全かつ円滑に実施する方法と準備について学ぶ。 教員自身が探究することを通して、生徒の科学的な思考力の育成につながる効果的な観察、実験の実施方法について考える。 	準備物 白衣